介護福祉科　講義要目

科　　目　　名	講　義　内　容
人間の尊厳と自立	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるように基礎となる能力を養う。
人間関係と 　コミュニケーション	介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を養うための学習とする。また、専門職間に必要なコミュニケーションの方法について基礎的理解を促す。
社会の理解	個人が自立した生活を営むということを理解するために、個人、家族、地域の単位で人間を捉える視点を養い、生活と社会の関わりや自助から公助に至る過程、医療保険制度、年金制度の基本的な考え方、歴史、しくみについて学ぶ。
手話言語学入門	手話を学ぶことにより、受話が言語であることを理解する。また、聴覚障害者の実態を知るとともに、聴覚障害者とのコミュニケーション能力を身につけ、手話で自己紹介ができる。
障害福祉論	わが国の社会保障の基本的な考え方、歴史と変遷、しくみについて理解する学習とする。特に障害者自立支援制度及び障害者総合支援法について、介護実践に必要であるという観点から基礎的知識を学ぶ。
介護の基本	「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を生活の観点から捉えるための学習とする。また、介護における安全やチームケア等について学ぶ。
地域ネットワーク論	介護を必要とする人の生活を支援するという観点から介護サービスや行政機関、地域との連携を理解し、自らの地域での活動を通して支援ネットワークの構築について学ぶ。
ケアシステム論	ＩＣＦの視点に基づくアセスメントから、エンパワメントの観点や個々に応じた自立を支援するための環境整備や介護予防、地域支援づくりについて学ぶ。
コミュニケーション 技術	介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や家族あるいは多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける。
ICT 活用	福祉の ICT 化に対応するため、パソコンを活用した書類作成の基礎知識を習得し、施設実習で体験したケースをまとめ発表することで、チームケアによる情報共有のための基礎的能力を習得する。
ライフケア実践 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	尊厳の保持の視点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。
介護過程Ⅰ・Ⅱ	他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案、実施、評価し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。

地域ネットワーク実践	介護サービスや行政機関、地域との連携を理解し、自らの地域での活動を通して支援ネットワークの構築について実践を通して学ぶ。
介護総合演習Ⅰ・Ⅱ	実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に学生が養成施設等において学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習である。介護総合演習については実習と組み合わせる。
介護実習Ⅰ	個々の生活のリズムや個性を理解するという観点から、さまざまな生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について学ぶ。
介護実習Ⅱ－1 ・ 2	個別ケアを行うために、個々の生活リズムや個性を理解し、課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価や計画の修正といった介護過程を展開する。他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。
発達と老化の理解	発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を学ぶ。
認知症の理解	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や特性を理解し、本人、家族、周囲の環境に配慮した介護の視点を習得する。
障害の理解	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、体験を理解し、本人、家族、周囲の環境に配慮した介護の視点を学習する。
こころとからだのしくみ	介護技術の根拠となる人体の構造や機能及びサービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。人体の構造や機能について基礎知識を学び、行動の根拠となるこころの働きを学習する。
子どもの発達心理学	障害児・者、高齢者に対する支援に必要な子どもの発達について理解を深めるため、特に発達心理面に焦点を当てた学習を行う。
医療的ケアⅠ・Ⅱ	医療的ケアとはどういうものか、また介護福祉士が「喀痰吸引」や「経管栄養」の医行為の一部を業として行うことができるようになった背景を理解し、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。
コアタイムⅠ	都城コアカレッジ全体で取り組む時間であり、人間的資質向上をめざし、社会人としての意識醸成を図ることを目的とする。ボランティア活動への参加を通して地域活動に積極的に取り組む姿勢を学ぶ。
コアタイムⅡ	都城コアカレッジ全体で取り組む時間であり、人間的資質向上をめざし、社会人としての意識醸成を図ることを目的とする。各種学校行事に主体的に取り組むことで、リーダーとしての役割を学ぶ。
資格取得対策Ⅰ・Ⅱ	介護福祉に関連する様々な資格、もしくは介護福祉士国家資格の合格を目指し、介護福祉士として必要とされる知識や技能を広く学習する。